

刊夕 日卅月十

# 常警每日新聞

定額一圓五角  
 廣告刊五號十二字第一行金五拾錢  
 日曜祭日の翌日休刊  
 發行所 常警每日新聞社  
 印刷所 常警每日新聞社

## 大演習と郵便物

平郵便 局長 戸石 清

本年十一月主として群馬、栃木、埼玉縣下に於て行はるる陸軍特別大演習統監部以下參加部隊宛又は之を肩書したるもの及び行幸供奉員陪觀者等に宛て、差出さるる郵便物電報は大體左の方法に依り特別取扱を致します。

### (郵便)

一、特別取扱をする郵便物  
 通常郵便物(小包にあらざるもの)で特に「大演習地配達」と表示したるものに限り、

高速度印刷機一臺  
 で一時間  
 に十五万枚の新聞紙が刷れる之を横に続けば東京驛から静岡驛まで達するものに限り、

郵便物に「大演習地配達」の表示がないと凡て衛戍地の方に配達することに成りますから演習地に送達を要するものは必ず此の表示を洩さるること。  
 二、小包郵便物  
 小包郵便物は特別取扱を致しませんので凡て衛戍地に送達する事になつて居りますが、特に演習地に送達を要するものは演

習地の宿所を肩書するか又は演習地の郵便局(集配事務を、取扱ふ局に限る)留置として差出ること  
 (電報)  
 一、電報の名宛記載方左例の如く大演習地と表示し片假名で明瞭に記載すること

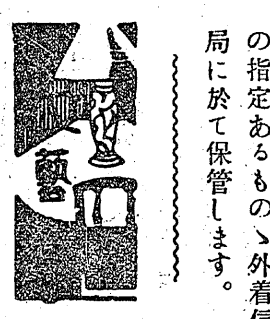
…立献の日明…  
 【朝】味噌汁・白菜  
 里芋  
 【晝】蛤ねぎ・みそ煮  
 【晚】月見焼き・豆腐  
 うづら 玉子落し 栗ふくめ煮

ダイエンシウチ  
 ナンシダンナンレン  
 タイナンチウタイ  
 ナンノナニガシ

注意 名宛に大演習地と書くことを洩らし單に「何師團何聯隊何中隊何某」と記載すると衛戍地へ配達される虞があり、又宿營地を肩書して差出すときは軍隊の行動等により遅延する様な場合もあり、其の宿所へ宛て発信する特別の必要あるときは成るべく追尾の指定(チラ)を附するを利便とします。  
 二、電報の配達方

一、參加部隊又は肩書したるものは各其の本部に配達します。  
 二、部隊陪觀者に宛てたるものは其の配屬部隊宛のものに準じて配達します、但し「大演習地」と表示したるもので宿舍の判明せるものは其の宿舍に配達します。  
 又右以外の場合に於ても部隊と宿舍とが同一局の受持區域内なるときは宿舍に配達します。  
 ハ、宿所を肩書したるものは其の宿所に配達します若し出發後等のため配達不能なるときは「追尾」の指定あるもの、外着信局に於て保管します。

光を求めて  
 佐藤 曉明  
 ほのぼのと夜は明けぬ  
 朝ぼらけ東の空に  
 深き露明星一つ  
 × × ×  
 あゝ心地よき今日も日和  
 働かん土を見つめて  
 強く振る凝り立つ腕  
 強く踏み土の底まで  
 あゝ汗にじむ男の額に



注意 名宛に大演習地と書くことを洩らし單に「何師團何聯隊何中隊何某」と記載すると衛戍地へ配達される虞があり、又宿營地を肩書して差出すときは軍隊の行動等により遅延する様な場合もあり、其の宿所へ宛て発信する特別の必要あるときは成るべく追尾の指定(チラ)を附するを利便とします。  
 二、電報の配達方

●通學用金釧外套賣出し

中黒最上	一二年……八圓五十錢
生外	二三年……九圓
	四五年……九圓五十錢

學生 黒ラシヤ	一年……四圓四十錢
小外	二年……四圓七十錢
	三年……五圓
	四五年……五圓五十錢

△紺ヘル金釧服一年用三圓四十錢  
 △男子子供オーバ種々荷揃

店服洋堂札正 (正)  
 番六三四電

玉屋洋品店  
 平町田町通電話六五六番

●店員募集  
 年齢十五、六才、希望者は至急来店あれ

新築 落成移轉  
 永らく御不自由相掛け申し上げて居りましたが此度漸く落成移轉致しました。何卒倍舊の御引立の程御願申上げます。尚新舖二階の客間は御會食御家族同伴等江戸前式に設備致しました何卒御利用下さい。

平・三(舊店舖跡)  
 玉壽司  
 電五七五番

高八病院

院長 醫學士 高久 忠  
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
 平町田町 電話五二三番

内科小兒科 外科花柳病科  
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

石炭 一俵廿二錢ヨリ  
 多少に拘らず御用命下さい、直ちに配達致します。

平町十五丁目 電四六番  
 エビスヤ燃料店  
 東洋火災保險株式會社平中央代理店

銀座～御越の節は是非會館へ  
 獨特な奉仕献立

紅茶 一〇  
 二品料理 二〇  
 ランチ 五〇

御宴、御集會、御相談次第  
 電話五七五  
 本會館

木村外科醫院  
 花柳病科 專門  
 自炊入院の便あり  
 電話三〇九番  
 平町六丁目橋際

### 中等 教員野球大會

一、日時 十一月三日(明治節)午前十時半  
 二、場所 縣立磐城高等女學校々庭  
 三、參加 磐中 磐女 平商 各校教職員  
 四、方法 優勝旗爭覇軟式リーグ戦

主催 常磐毎日新聞社  
 後援 磐陽野球聯盟  
 同 平町軟式野球協會

### 實業補習學校教員俸給半額の 縣費負擔を建議

#### 東部聯合への提出議案決る

石城教育會では來月十一、十二兩日相馬郡に開催される東部聯合教育會に本部より出席者選定の爲め昨廿九日午前十時より平第一校に代議員會を開き審議した結果

(一)渡邊義雄(二)區安藤力(三)尾越邦治(四)區(鈴木龜之助(五)區)赤澤欣之助

の五氏と決定した、尙大會に石城部會より提出する議案は左の如し

(建議案)

一、實業補習學校專任教員俸給の半額を補助せられん事を本縣知事に建議する件  
 一、小學校教員年功加俸規程通りを支給せられん事を其の筋に建議する件  
 (協議案)  
 一、研究發表繼續實施の件  
 一、卅年以上在職表彰繼續實施の件  
 一、大日本義勇飛行會主催煙草銀紙蒐集の件

### 教育部會總會

#### 來月四日平第一校で 井上陸軍中將の時局講演

石城教育會では昨廿九日午前九時より平第一小學校にて協議の結果秋季總會は來月四日午前九時より平第一小學校に於いて役員會を開く

開催する秋季總會に就いて協議の結果秋季總會は來月四日午前九時より平第一小學校に於いて役員會を開く

一、小學校に開き會員の研究發表、議事等を行ひ東部聯合教育會で表彰すべき本部の教育功勞者として山田小學校校長安齋清七氏を推薦し終つて陸軍中將井上一次氏の時局に就いての講演を聴き散會する事に決定した

勸誘奉讀式 平町各種學校では本日の教育勸語下賜記念日に際して午前中をこれ、講堂に於いて勸語奉讀式を舉行した

### 縣下児童成績 品展覽會へ

#### 平町の出品児童

平町の三小學校では來月二日より四日迄福島女子師範學校に開催される縣下児童書方成績展覽會に出品すべ

### 蜂屋柿續々出廻る

#### 郡農會出荷斡旋に大童へ

#### 現在相場は二圓台

漸く出廻り最盛季に入つた名産蜂屋柿に對し郡農會で

は既報の如く共同出荷のため各村農會と連絡して出荷

### 高麗橋を中心として

#### 眞木翁の懐古事談

#### 第二校の北手には

#### 眞竹の竹籾と老梅

#### 今の第二小學校の處は

北手に眞竹の大竹籾を背負つた桑原十左衛門の一屋敷だ、門内に花梅の大老木があり、南が綺麗な芝草の庭木の間に通して、藥王寺臺(今の松岡)善昌中山

勸誘中であるが既に大野村から三車、山田一車、磐崎一車と續々申込みあつたが今三十日は大野、山田から更に各一車の追加がありなは近く好問、勿來、川部、

### 農家副業に最適 「柿せんべい」の獎勵

#### 神谷分場の試作結果上乘

#### 東京方面の販路も有望

神谷農事試験場では農家副業として石城名産蜂屋柿を利用して「柿せんべい」「甘ぼし」等火力乾燥による柿の加工品に就て昨年末以來研究的に試作を行つて來たが乾燥に要する時は長くても四日短くても二日半で完成される好成绩で農家副業としては最適なものだ、凶作の折柄近く郡下農家に大獎勵を行ふことになつたが新年時東京方面の飾付け贈答品として二、三萬個位捌ける見込みなので前途頗る有望視されてゐる

### 体操講習 期日繰上

#### 平と湯本で

既報石城教育會主催で來月十六日平第一、十七日湯本校に開かれる筈であつた体操講習員の視察指導講習會は今回都合によつて日數一部で、湯本は長坂と六間門に兩属したものが、今の字名は才穂小路で、高麗橋の下にも其飛地が出来た。長坂の邊は、地形の高低から、二段に區分せられ、折曲かつ北端高麗橋下の邊は、あるかなしかの水で南進して水深加はり、武藏鐵工場の處では、幅も廣く、座頭石の處は段、小さな瀧が落ちて、蠶業試驗所の處で幅は一層廣く、女學校道路の曲角で又復瀧となつて才穂小路の邊に落ち、居つ

### 長坂方面

今は埋れた座頭石、瀧の邊りの淋しさ、名の如く長い坂、坂は昔と變つて居らぬが、坂脇の聖壇は、縣道に埋められ、沿道は今も断絶しては又續く人家もあつて、其趣は變つ終つた、坂は元來揚土の

### 磐炭營養講習 出席頗る良好

#### けふ證書授與

去る一日より綴從業員及び内郷職員兩合宿で内務省營養研究所八瀨瀧太郎氏講師の下に開催された磐炭健康保險組合主催の營養講習會は今三十日正午終了、午後一時より淺野記念館に於て證書授與式を行つたが出席者毎日百八十餘名あり頗る好成绩であつた

を繰上げ十三日平第一、十四日湯本校の二會場で行ふ事に決定したが第一日會場としての平第一校では是に備へる爲め來月二日全校生徒の体操講習會を開き午後からは其の批判會を開く等万全を期して居る

平商辯論大會 平商業學校辯論部では來月十日頃全校生徒の秋季辯論大會を催すべく目下各學年の出演希望者より演題を取纏め中有る

才穂小路より、次第に長坂を上れば、一方は稽古場の竹籾(商業學校下の稍平坦なる處)で、右手の下方には、今は殆んど埋れたが異容の座頭石が屹立してサラサラといふ、絶間ない瀧の水音がして、夜などはとても淋しい所であつた、此處を過ぐれば、右の高い處が赤門のあつた家老上坂助大夫の屋敷、更に登れば同じ側に秋間氏の屋敷だ坂を上り切れば廣小路。

# 大島辯巧みに

## インチキ椿油を賣付く

### 不良原油で暴利を貪る

#### 御婦人連御用心が肝要

最近平町附近に八丈島大島椿香油の宣傳員と稱してインチキ香油を高價に賣付け廻る三人組の行商人あるを探知した平署では嚴重の方搜索中のところ昨二十九日不敵にも平署附近の某商店で賣込み中の三人組を平署柏木刑事が発見有無を云はせず引致取調の結果右

# 二日間の賣上げ

## 何んと三千二百圓

### 大成功の磐女バザール閉る

廿八、九の兩日に亘つて催された磐城高等女學校の恒例バザールは一萬五千有餘の參觀者を吸収する大成功を納めたが本日は朝來職員、生徒總動員で整理に當つてゐる、同バザールの賣上げは第一日目が二千八百五十圓二日目四百十圓で合計三千二百六十圓といふ巨額に達したが正に専門の小賣業者も足元へ寄り付けぬ豪勢さである

# 青年團理事會 既報

平町青年團主催で來月三日明治節を下して行はれる各分團對抗町内驛傳競争は愈々期日も迫つたので本夕午

本日左記五名に決定した

- (正員) 内郷高木タマエ
- 磐崎北郷ヤス 渡邊佐山
- 志計(補員) 磐崎清水ミツ
- ニ 赤井矢野フサ

# 偽名として

## 診療詐欺

### 不敵な女逃走

磐崎村大字藤原齋藤増江(二)は本月中旬頃湯本町三函八二齋藤齒科醫方に至り磐崎村大字小野田看護婦縁川鈴江と偽名し八日間治療を受け僅か一圓五十錢を支拂つたきりで十三圓餘を詐欺そのまゝ逃走したので被害者よりの届出により平署で嚴重行方搜索中

# 十八娘の家出

縣名取郡沼田町志引七三政吉長女竹中とき(一)は去る一日午前九時頃家人の不在中に家出行方不明となつたが或は石城郡下の旅館、飲酒店等に住込んでゐるのではないかと實父政吉から三十日平署へ搜索方を願出た

# 酒宴の最中に

## 財布が消える

### 月給直後の鐵道員氏御難!

平町白銀町三平機關庫員根本清義(一)は昨二十九日夜月給直後で懐ち工合のよいのに魔がさしてか友人齊藤某と連れ立つて田町照よしに登樓秀奴、五郎の二藝妓を揚げ大盡遊びをなし同夜



明日のラジオ

報豫氣天 今晩も明日も北西の風晴曇半す

# 明日の部

- 後六〇〇 子供の時間
- 管絃樂 東京ラヂオオーケストラ
- 後六二五 英語講座(四)
- 後七三〇 講演「教育勅語記念日に當りて」
- ◎ラウトハウス生誕七十

# 無免許周旋

保町河原寅藏(一)は去る五月六日無免許で入遠野村字有實平子サクヨ(一)を平町白銀町菅野貞雄方へ女中に周旋手数料として七圓を受取つた事發覺三十日平署の取調をうけた

# 秋のナンセンス

## ルンペン(一)の窃盜實踐

### 第一幕... 釜盜みの場

### 第二幕... 米泥棒の場

山林の夢破られて檢舉

# 物騒な拾得物

## 盗まれた爆薬廿本

### 山芋掘りの坑夫が発見

内郷村白水字濱井場一支柱夫矢内義夫(一)は昨二十九日正午頃同村大神田地内綴

童話劇 チョビ助物語 B  
K子供サークル  
後六二五 基礎英語講座  
(二〇)岡倉山三郎  
後七三〇 京城より講演  
「朝鮮と帝國の國防」朝鮮軍司令官陸軍中將植田謙吉  
◎特演演藝週間  
後八〇〇 但詠 正調追分節 渡邊錦遊外  
後八一五 但詠 佐渡おけさ 村田文三  
後八二〇 但詠 博多節 秀外  
後八四〇 漫才「秋が來た來た」柳家雪江外  
後九〇〇 長唄 靱猿松 永利風外

# 疫痢で死亡

平町田町一九池内きぬ子さん(一)は二十九日午後六時疫痢と決定したが二十日午前三時遂に死亡した

# 内郷武道大會

内郷武徳會及び磐城健康保險組合主催の武道大會は來る十一月三日内郷武徳殿に於て開催されるが参加者二百八十餘名で盛會を豫想されてゐる

# 木炭指導員會 演三

郡木炭同業組合では來月四日午前十一時から平町團體事務所樓上で製炭指導員の打合せ會を開く

# 浮城の地獄 新章 頭

田邊南龍作  
山本英春(書)

……一七一……  
流石に立派な死(二)  
中にも唐大権兵衛が大層心配して  
『何處へ行つたらう親分は……』  
『俺の考へちやア本多の屋敷へ行きなすつたと思ふ、きつと櫻井の旦那にお別れを告げに行きなすつたんだ……』  
『遠えねえ、さうだくぢやア本多屋敷へ使ひを遣つて親分の居なさるか居なさらねえか、聞いて来るが宜い』  
と若い者を遣つて聞かせると  
『長兵衛は久し振りで参つたから當屋敷へ止めおくから左様心得よ、明日は歸るから迎へに来るやうに』  
と櫻井様の御返答  
『ぢやア明日は歸つて来るだらう』  
と各自待つて居りました  
翌日何時まで経つても長兵衛元締が歸つて来ない、あまり心配だから櫻井の邸へ又聞きに参りますと  
『早朝に長兵衛は歸つた』と云ふ返事、さて歸つて来たといふ事になつて見ると大きに心配でございます『それぢやア又瑞川の所へ暇乞ひにでも行きなすつた



衛が南北兩奉行へ對して何うか此水死人を葬つてやりたいと云ふ事を願つて、夫を許されたものでございませうから、毎日チャンと大勢乾分の日割がしてあつて、上十五日はたれ、下十五日はだれと斯う極まつて居るで小さい船に乗つて川筋を始終流して居ります、水死人がおりますとソレを引揚げ身内親類がある者はそれへ引渡す、愈々引取人のな

やねえか水野の屋敷へ行きやアしねえか』  
『ア、云ふ親分の氣性だから却つて人手を待つて……小平何かあるせ彼處の所に……』  
小屋の若い者は小平と權三を見附けて  
『元締のお若い衆』  
『何んだ』  
『元締のお若い衆』  
『何んだ』  
『元柳橋の河岸に水死人がございますよ』  
『さうか』  
『どうか一つお出でなすつて下せえ』  
それから船を其處へ漕ぎ寄せると孤に括つてある水死人だ。  
『此彼は何だな權三、水死人とは云ひながら身を投げたんぢやあねえせ』  
『さうよ、大勢で簀巻きにして川へでも投げ込んだのが知れねえ』  
○小屋者が手傳つて其の菴に巻いてあるのを引揚げ、菴を解いて様子を見ると驚いた。

をして探したが知れない、知れない譯、それが長兵衛落命をした日だ、翌日も早から四方八方へ手分けをして探しましたが知れませぬ。  
すると庵崎の小平と白鬼の權三と云ふ兩人が水死人を引上げる役目に當つて居ります、是は前々から長

### 黒小倉通學服賣出

一望秋色  
さあ御召替です  
かかやには皆様の御満足の得る品が何時も澤山揃へて御座います

小學生用 (長ズボン付)  
A.....90円  
B.....1.10円  
特製品.....2.35円  
中學生用  
特製6號.....3.50円  
御注文(特上).....6.30円

ふかや洋服店 平 三 208

季節 松茸・鳥料理  
よ せ な べ 魚 榮  
配達 迅速  
平田町 電話四二四番

### 魂の入つた 機關銃印の自轉車

日章旗の如く輝く特長  
一、全部鋼鐵、特種壓搾製  
二、自働注油、防水防塵、装置  
三、ヘッド及びホークのスプリング作動

斯界に比なき數多の特長を有するが故に耐久力は普通車の五倍以上。而かも悪路でも振動を感ぜず。その輕快さは本車のみ有する特長で製作者の苦心の存する所であります。

機關銃印の自轉車(宣傳中) 五十八圓  
戰車の如く頑強だと御評判を賜りました  
フタバ式超重量用リヤカー(宣傳中) 廿五圓  
永年修繕費のかゝらぬ  
兩車の御利用を切に御願ひ申上げます

フタバ商會  
平・新川町・月見橋際

石炭  
コークス  
玉炭  
平 驛 前  
阿部石炭商店  
電話三七番

### 味覺の秋!!

仙の干やなぎ  
賣初めました  
其他鱈節、鱈鹽辛、いか鹽辛  
★鱈の子入荷致しました★  
平 町 土 橋  
鈴藏魚店  
電話六六二番